

蒲郡東高生徒がAED学ぶ 豊橋ハートセンターの講習会



AEDの操作法を学ぶ生徒たち―蒲郡東高校で
.....
留めている。

同校には、同センターの救急蘇(そ)生教室担当の杉浦武治さんや蒲郡市消防署の消防隊員ら35人が訪れ、運動部や保健委員会の生徒110人を指導した。

杉浦さんは「AEDに依存する傾向があるが、装置を装着するまでの間は心臓マッサージを怠らないで」とアドバイスした。

心停止状態となった心臓を電気ショックで回復させるAED(自動体外式除細動器)の使い方を覚えてもらおうと、豊橋ハートセンター(豊橋市大山町、鈴木孝彦院長)は18日、蒲郡東高校で講習会を開いた。

AEDは心臓がけいれ

んなど、発作を起こした際に使う装置。機械は症状を察知した時のみ作動し、アナウンスに沿って操作できることから、昨年7月から一般の市民が無資格で使用できるようになった。愛知万博開催期間中でも4人がAEDによる処置で一命を取り

運動時に心臓がけいれんを起こすケースが多いことから、県教育委員会は今年3月、県立高校全校にAED1台を設置している。

(安藤聡)